

飯田市議会の ICT 活用（タブレット端末）の検討について

2019. 1. 24 議会改革推進会議

1 検討するための論点整理（正副委員長案）

★自治基本条例の「第 6 章 市議会の役割」で定められている「市議会の責務」や「開かれた議会運営」に基づいて議会機能の強化と議会への市民参加を積極的に推進する。

□具体的な論点（タブレット端末導入の目的）

目的	必要な機能	効果	要否
①議会運営の効率化	・ペーパーレス会議システム [ファイルの自動配信、説明者によるページ送り機能]	・資料準備（印刷・製本・配布）の事務作業の軽減 ・業務スピードの向上 ・資料閲覧の迅速化（いつでも、どこでも 迅速に）	
	・グループウェア	・議会スケジュール（全体共通・委員会・議運 他）の共有 ・議会情報の共有 ・会派内の情報共有	
	・連絡業務チャットアプリ	・FAX より迅速な情報伝達 ・既読確認機能による確実な情報伝達	
②議会の活性化 議員の資質向上	・ペーパーレス会議システム [資料の蓄積・横断検索機能]	・議員活動への活用（市民への迅速・的確な情報提供） ・議案審議、委員会活動（調査研究、視察）等での活用（過去の資料や例規・先例集の閲覧）	
	・WEB 閲覧 [常時接続]	・議員活動への活用（市民への迅速・的確な情報提供） ・議案審議、委員会活動（調査研究、視察）等での活用	
③危機管理体制の強化	・ペーパーレス会議システム	・災害情報の共有（災害対策本部の速報、報道発表資料、状況写真等）	
	・連絡業務チャットアプリ	・安否確認（既読確認機能） ・迅速な情報伝達	
	・カメラ機能	・被害状況の確認・報告	
	・飯田市地域情報アプリ（既存アプリ）	・緊急情報（防災行政無線、気象特別警報 等） ・安心安全情報の確認（河川水位、ライブカメラ 等）	

□今後の検討課題

- ・執行機関との共同研究
- ・タブレット端末の導入以外の ICT 活用
- ・タブレット端末等のシステム導入費用とその効果の検討（費用対効果）